

◆ばんどう文芸◆

短歌

今井 清 選

桜見るマスクの下の瞳の笑ふこころも笑ふ心は温む

すぐすとレタスが育つ肥沃な地昔鵲の遊びし所 辺田 中田 秀子

風そよぎ小げらの叩く音リズムカル耳^{そはた}敬てつ目を凝らしたる 長須 藤井 久子

ふるきとは近くにありて遠くなり此処は娘のふるさとなる 沓掛 木村 愛子

娘の手術安穩を祈り院庭をさまよい見上ぐ暁闇の桜 長須 平田とみい

焼きたてのパンを車に買い入れてかぐわし香りを義姉へと運ぶ 平八新田 吉岡 耿

ひと雨に水仙さやかに咲き盛りコロナ禍なれど心が和む 山 栗原やエ子

大空とチェンソーの音送りきて友は櫂を伐りたりと告ぐ 沓掛 倉持かよ子

辞めなくてよかったですとアナウンサー大関復帰の照ノ富士詰まる 駒 内海 妙子

友引の六日皇居で粃を蒔く奇しくも我も粃を蒔きたり 大崎 染谷 静男

不機嫌に大泣きしてる孫の目の涙の粒のなんと小さい 長谷 荒井 勝

桜舞い花びら追いかける孫娘夏の気温になる昼のなか 生子 高島みさ子

弘前の水面に写す紅ざくら橋にもたれて見る美しさ 長谷 後藤 守

皆と合いグラウンドゴルフを楽しんで今夜はひとしお心やすらぐ 弓田 岡部美江子

【評】一首目、花を愛で友情を感じている。感性が鋭い。二首目、昔鵲戸沼の周辺にあって豊を営む心の豊かさを感じる。三首目、コゲラは最近珍しくなった。緊張感のある姿勢が目につく。四首目、隣村から嫁に來た作者、外へ嫁に出した娘を思い乍らの歌。五首目、手術は夜明けまでなかった。

※4月号の木村仁さんの歌は、長須の鈴木節代さんの歌でした。お詫びして訂正いたします。

短歌の作品を募集します！

皆さんからの短歌を広く募集します。投稿される方は、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、掲載希望月の前月20日までに届くように選考宛にお送りください。なお、俳句につきましては、当面の問お休みさせていただきます。

選考者 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864

あやしいな、おかしいな、と思ったら、消費生活センターへ ☎0297(36)2035